

震災メモリアル事業方針を策定

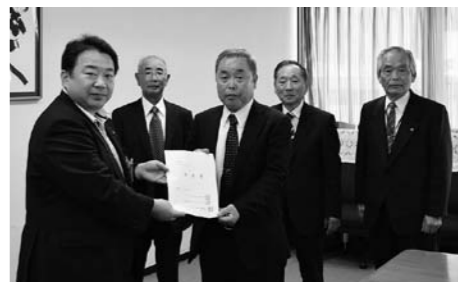
震災の記憶と教訓を伝える中核拠点施設を整備

震災メモリアル事業とは

震災メモリアル事業は、災害に強く震災前にも増して活力あふれる本市の未来を築くため、震災の経験を、現在と未来の視点に立ってあらためて捉え直し、震災の記憶や教訓を風化させず、確実に後世に伝えていくことを目的とした事業です。

同事業方針策定の経過

昨年六月から、学識経験者などで構成する「震災メモリアル検討会議」で協議・検討を重ね、同事業を遂行するための中核拠点施設の整備などを盛り込んだ提言が、十一月に提出されました。



薄磯・豊間・沼ノ内の三行政区が合同で要望

ありました。これらを踏まえ、市は、同事業の今後の取り組みの方向性を明らかにするため「市震災メモリアル事業方針」を、五月十三日に策定しました。

同事業の中心となる中核拠点施設を整備

同事業方針では「いわきの復興と飛躍に向けた『みらい事業』」を、基本理念〈図1〉に掲げました。取り組みの中心に「震災

中核拠点施設の概要

同施設では、アーカイブ（震災関連資料の収集・保存・継承を行う仕組み）を構築し、資料展示や語り部などを通じて、震災体験を共有できるようにします。また、アーカイブ情報を生かした防災・減災教育の場としての役割を果たすとともに、情報発信や交流の場として、さまざまなネットワークの形成を促進します。

建設候補地は平薄磯地区

一定の面積規模を有し、

2016 市就職ガイダンスを開催

～本市で就職を希望する方に
地元企業の取り組みや魅力を説明～

○お問い合わせ
商業労政課労政係
☎22-7478



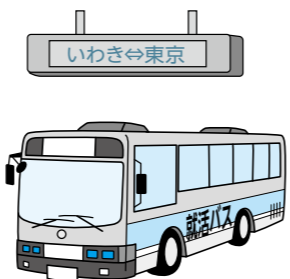
昨年のガイダンスで企業説明を聞く参加者

一般求職者やUIターン希望者、本市で就職を希望している大学等卒業予定者を対象に「市就職ガイダンス」を開催し、地元企業による説明などを行います。他にも、職業の適性診断や就職についての相談窓口、本市への移住案内など、さまざまなコーナーを開設します。

また、首都圏から参加する方のために、無料就活バスを運行します。同バスを利用する場合は、事前申し込みが必要となります。申し込み方法など詳しくは、同課へお問い合わせください。

○開催概要

- ▼とき 7月15日(金)
 - ▼時間 ①第一部 9時15分～正午 ②第二部 13時～15時45分
 - ▼ところ 産業創造館
 - ▼内容 合同就職説明会、参加企業によるPR
 - ▼対象 一般求職者、UIターン希望者、大学・短大・高専等を平成29年3月に卒業予定の学生（高校生を除く）
 - ▼参加企業 市内に営業拠点（就業場所）を有している事業所など約60社
 - ▼無料就活バス
運行区間 東京（新宿）～いわき
 - ・運行日 7月14日(木)・15日(金)（14日は東京からの片道運行）
- ※企業入れ替え制のため、第一部と第二部で参加企業が異なります。



高齢者等の見守りに関する協定を締結

市は、4月20日に、高齢者等が地域から孤立することなどを防止するため、ヤマト運輸株式会社と「いわき市の高齢者等の見守りに関する協定」を締結しました。

同協定に基づき、同社の業務の範囲で、急病や虐待などの兆候、認知症による徘徊などを発見した場合、速やかに情報共有を図ることで、地域福祉の向上を目指していきます。



地域福祉の向上を目的に協定を締結

全国健康保険協会福島支部と事業連携基本協定を締結

市は、4月21日に、市民の皆さんの健康増進を図り、生活習慣病の予防などを推進するため、全国健康保険協会福島支部と「事業連携基本協定」を締結しました。

同協定に基づき、特定健康診査やがん検診の受診に関する啓発を共同で行うほか、健診結果の分析等の調査研究を行い、医療費の適正化などに連携して取り組んでいきます。



市民の皆さんの健康増進を目的に協定を締結

〈図1〉震災メモリアル事業の基本理念など

○基本理念

いわきの復興と飛躍に向けた「みらい事業」

～震災の記憶と教訓を未来に伝え、災害に強いいわき市を築くとともに、復興まちづくりを支える人と地域をつなぐ～

○基本方針

- ①いわき市における現在進行形の災害の記憶を未来に伝えるアーカイブを構築します。
- ②震災の記憶と教訓を未来につなぐ学びの場をつくります。
- ③各地域における復興に向けた取り組みを発信し未来を担う人材の育成を支援します。
- ④震災遺産を入り口とした地域発見と発信を行い地域振興につなげます。
- ⑤追悼と鎮魂の場をつくります。

震災の被害と復興の様子を伝える象徴的な場所であることから「薄磯震災復興土地地区画整理事業地内」を、建設候補地としました。今後は、基本計画の策定など、整備に伴う手続きを進め、平成三十一年三月に供用を開始する予定です。

鈴木幸長さん（薄磯区長）に聞きました

平薄磯地区に整備される中核拠点施設が、地域の活性化につながることが期待されています。

○お問い合わせ

地域振興課
中山間・沿岸地域係
☎22-7415

「平成28年熊本地震」の被災地を支援

4月14日に発生した同地震により被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。
市は、被災された皆さんを応援するために、被災地に対し各種支援を行っています。

○支援物資 4月21日（熊本市へ）

- ・飲料水（2リットル） 600本
- ・アルファ化米 2,500食
- ・乾パン（缶詰） 1,200食
- ・柔らかいパン（缶詰） 1,200食
- ・フロアマット 3,000枚
- ・給水袋 10,000枚



4月19日に、支援物資を積んだトラックが熊本市へ出発

○義援金

4月28日までに、市民の皆さんからお預かりした義援金を、5月9日、熊本県と大分県の東京事務所へ贈呈しました。
・贈呈額 熊本県=150万円、大分県=30万円
なお、4月29日以降に寄せられた義援金については、日本赤十字社を通じ、被災地へ全額送金する予定です。

○市職員を派遣

- ・技術職員（建築職） 1人（4月22日～26日、熊本市）
- ・保健師 2人（5月6日～12日、大津町）
- ・水道局技術職員 1人（5月2日～9日、熊本市）

チェック! 災害への備えを確認しましょう

地震や風水害などの自然災害は、いつどこで発生するか予測するのは困難です。
いざという時に備え、慌てることなく行動できるように、日ごろの準備が大切です。
・テレビやラジオ、インターネットなどで、日ごろから情報の収集に努めましょう。
・緊急時の避難場所や家族の連絡先などを、確認しておきましょう。
・非常用持ち出し袋を準備するなど、日ごろの備えを確認しておきましょう。

防災に係る相互協力に関する協定を締結

市は、5月12日に日本防災士会福島県支部いわき地区会と同協定を締結しました。
防災士が持つ専門的な知識や技能、経験等を生かし、自主防災組織への助言や、避難所運営の支援などを行うことで、さらなる地域防災力の向上を目指していきます。



清水市長と藁谷いわき地区会長（右）

○実施機関別の開示請求件数

実施機関	情報公開	個人情報
市長部局	385	175
教育委員会	79	9
選挙管理委員会	1	0
監査委員	1	0
公平委員会	0	0
農業委員会	1	0
固定資産評価審査委員会	0	0
消防本部	10	6
水道局	130	12
総合磐城共立病院	11	101
議会	3	0
合計	621	303

平成二十七年末に、市が保有していた個人情報

個人情報保護制度

市の個人情報保護制度と個人情報保護制度について、平成二十七年の開示請求件数と、これに対する市の開示決定内容などについてお知らせします。

情報公開制度

市の情報公開制度と個人情報保護制度について、平成二十七年の開示請求件数と、これに対する市の開示決定内容などについてお知らせします。

不服申し立ての状況

各制度では、市の開示決定に対して、申請者が不服申し立てをすることができません。
平成二十七年は、平成

▼開示請求 6百21件
▼市の開示決定 ①全部開示 4百57件（73・6%） ②部分開示 1百57件（25・3%） ③不開示 77件（1・1%）
▼開示請求 3百3件
▼市の開示決定 ①全部開示 1百6件（35・0%） ②部分開示 1百71件（56・4%） ③不開示 26件（8・6%）

ファイル（※）は八百八十二件でした。
なお、保有個人情報の訂正請求や利用停止請求は、ありませんでした。

お問い合わせセンター
22・7436

二十六年度から審査継続中の不服申し立てのほかに、新たに一件の不服申し立てがありました。
審査継続中の不服申し立てについては棄却する決定がなされ、他の一件は、現在「いわき市情報公開・個人情報保護審査会」で審査中です。

※個人情報ファイル

保有個人情報を含む情報の集合物で、事務の目的を達成するために特定の保有個人情報を検索できるように、体系的に構成したもの。または、氏名・生年月日・その他の記述などにより、特定の保有個人情報を検索できるように、体系的に構成したもの

いわき応援大使の紹介 ②

明るく元気ないわき市の実現に向け、本市のPRやアドバイス・情報提供をしていただく「いわき応援大使」に、新たに委嘱した5人の皆さんを、シリーズで紹介いたします。



佐川宣寿さん
(財務省関税局長)

いわきに生まれ、平一小・平一中で学んだこともあって、いわき応援大使となりました。あの震災後、復興庁で2年間仕事をしたことも大きなご縁と思っています。微力ですが、いわきの力になるように努力してまいります。



大島勝さん
(元関脇旭天鵬)

私はモンゴル出身ですが、妻のふるさとなので、いわきは大好きです。東日本大震災の時は駆け付けて、水などを運ぶ手伝いをしました。皆様と一緒に、いわきを盛り上げていきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。



荒川史絵さん
(映像演出助手・監督)

私は、いわきに生まれ育ちました。磐城女子高校時代に見た激走戦隊カーレンジャーに憧れ、戦隊ものの監督となり、特撮史上初の女性監督になることもできました。いわきで、カッコいいヒーロー作品をつくるのが夢です。

平成28年春の叙勲

本市からは、次の12人の方々が晴れの栄誉に輝きました。

＝年齢は4月29日現在。50音順・敬称略＝

○旭日双光章

- 平間文正(72)=元市議会議員 小浜町
- 吉田雄藏(77)=日本かつお・まぐろ漁業協同組合 理事 中之作

○瑞宝双光章

- 市橋貞子(77)=元各種統計調査員、元保護司 常磐湯本町
- 山本加子(72)=保護司 常磐関船町
- 吉田智昭(71)=保護司 平

○瑞宝単光章

- 鶴沼智恵子(72)=民生・児童委員 小名浜岡小名
- 片寄倫子(55)=植田保育園主任保育士 植田町
- 金子隆子(67)=元かしま病院医療技術部部長代理 小名浜
- 齋藤清(69)=元日本郵政公社職員 鹿島町久保
- 佐々木久仁弘(70)=元市消防団分団長 内郷白水町
- 鈴木透(74)=元市消防団分団長 内郷白水町
- 久田和男(74)=元市消防団分団長 平南白土